

CREATORS' BONDING

By ThreeBond

Creator's Talk Number
18

経営コンサルティングの 創造的なあり方とは？

文＝深沢慶太 Text：Keita Fukasawa
対談者＝土田耕作（株式会社スリーボンドホールディングス取締役／Creators' Bonding エグゼクティブ・プロデューサー）／Interlocutor：Kosaku Tsuchida

Creators' Bondingとは？

工業用シール剤・接着剤メーカー「スリーボンド」の「創造することこそが、社会への奉仕につながる」という理念を体現する文化支援活動。毎年9月29日（くっつく＝接着の日）を中心に、才能と才能を「Bonding」する様々な企画を実施。本連載は、各界で創造性を発揮し活躍する多彩な人々とのインタビューを通じ、「創造」について調査・研究していくマンスリー企画。人と人との絆の大切さを再認識する旧連載「くっつく絆メカニズム」を進化・発展させ、「創造」についての理解を加えることで、技術革新を促進し、新たな表現や文化の創出に貢献していく。

「Creators' Bonding」ウェブサイト www.creators-bonding.com

「ともに課題に向き合う姿勢から、まだ見ぬ事業を創造したい」

土田：並木さんは、企業の幹部が社運を賭けた決断をする際に助言やノウハウ提供を行う「経営コンサルタント」として自らの会社を設立し、航空会社からプロ野球の球団まで、そうそうたるクライアントの事業に携わっていますね。

並木：はい。コンサルティングにはさまざまなスタイルがありますが、弊社が手掛けるのは成長する意志を持った企業ばかりです。いわば、その目標に向かって経営者と一緒に取り組んでいく立場ですね。

土田：そもそも最初にこの仕事に興味を持ったきっかけとは、何だったのでしょうか？

並木：もともとプロ野球選手になりたいと思っていたのですが、けがで夢を諦めて目的を見失っていたところ、アルバイト先のお客さんから「君は何がしたいの？」と声を掛けられたのです。その方は大手コンサルティング会社のマッキンゼー・アンド・カンパニーの方で、「うちで経験を3年積みば、色々な会社を見られる。その中から好きな仕事を見つければいい」とお誘いをいただいて。



湘南ベルマーレの選手やサポーターとともに
（2014年9月湘南BMWスタジアムにて）

土田：入社して、どんな手応えがありましたか？

並木：それが鳴かず飛ばずで……やりたい仕事も見つからず、今度はアメリカへのMBA（経営学修士）留学を勧めていただきました。その留学中に、楽天の三木谷会長が東北楽天ゴールデンイーグルスを設立したというニュースを目にして、「自分が培ってきた経営のノウハウで野球に貢献したい」と考え、メールで申し出たのが転機になりました。それまではシーズンを通して一律だった観戦チケットを、人気の度合いで金額に差を付けるなど、アイデアが立て続けにヒットして、大きく弾みが付きました。

土田：2009年には自身の会社を設立されていますが、独立の理由は何だったのでしょうか？

並木：欧米に比べて「コンサル未開の地」といわれる日本で、新しい方法論を確立できると思ったからです。年功序列に慣れ親しんだ日本の会社組織では、分析力にたけた若者よりも、人生経験を元に助言を行う年配の方のほうが信頼されます。でも今の時代、若くして経営経験を積むことは十分に可能です。そこで、



スポンサーロゴ入りの2015年チャリティー
マッチ用ユニフォーム

若いスタッフにベンチャー企業の社長として経験を積んでもらい、分析に基づくコンサルティングのスキルを併せ持った人材を育てることによって、さまざまな領域で仕事の幅を広げてきました。例えばレコード会社として知られるエイベックスとは、縮小が続く音楽市場に留まらず、この春からJリーグの湘南ベルマーレの試合と音楽ライブを融合させるなどの取り組みを展開する予定です。

土田：これまでの経験や領域を越えた事業の創造に取り組むにあたり、ご自身のモチベーションになっているものとは、何でしょうか？

並木：自分が好きだと思える人々が喜ぶ姿、これに尽きますね。その人と一緒に、問題解決に向けて本気で取り組んでいる時に、創造的なアイデアが湧いてくる。昨秋に子会社を3つ設立したのも、そういう時間をスタッフにも過ごしてもらいたいという願いから。これからも、本当の意味で人の役に立つコンサルタントを目指して、さまざまな活動にチャレンジしていきたいと思っています。



対談する並木裕太さん（右）と土田エグゼクティブ・プロデューサー（撮影：大石一男）



並木裕太 なみき・ゆうた 経営コンサルタント／株式会社フィールドマネージメント代表取締役

慶応義塾大学経済学部卒。ペンシルベニア大学ウォートン校でMBAを取得。2000年、マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。09年に独立、フィールドマネージメントを設立。エレクトロニクス、航空、インターネット、自動車などの日本を代表する企業の経営コンサルタントを務める。スポーツの分野では、野球において、プロ野球オーナー会議へ参加、パ・リーグのリーグ・ビジネス、ファイターズやイーグルスなど多数のチーム・ビジネスをキーマンとともに作り上げており、サッカーでは、Jリーグのリーグ・ビジネス、ウィッセルやベルマーレなどのチームビジネスのサポートを続けている。日本一の社会人野球クラブチーム「東京バンパータ」の球団社長兼GMでもある。パシフィックリーグマーケティング株式会社 アドバイザー 東京バンパータ 球団社長・GM

www.field-mgmt.com